

安全確認 無事故で通過 交差点

①年度末の交通事故防止の推進

- 多段階停止で見通しの悪い交差点での事故を防止しよう
- 右左折時の目視確認を徹底させよう

②花粉症対策に取り組もう

- 花粉症治療薬の注意点を周知する



多段階停止で

見通しの悪い交差点での

事故を防止しよう

年度末のこの時期は業務の忙しさから、運転が雑になり事故のおそれが高まります。安全運転に対する意識の引き締めを図っておきましょう。

事故の多くは交差点で発生しており、とくに見通しの悪い交差点の通過時は注意が必要です。

そこで、見通しの悪い交差点での多段階停止の徹底を指導しましょう。多段階停止の手順は次のとおりです。

①一時停止線の直前で停止する
②安全確認の後、交差道路から自車が少し見える位置まで進んで、再度停止して、安全を確認する

③その後、左右が見通せるところまで進み、一時停止して、もう一度安全を確認する
安全確認を念入りに行う多

段階停止は、交差点事故の防止

に非常に効果的です。従業員に

徹底させ、交差点事故防止を図

りましょう。

右左折時の目視確認を

徹底させよう

交差点の右左折時にも多くの事故が発生しています。原因のひとつがミラーのみによる安全確認です。

ミラーをチラッと見ただけの安全確認では、ミラーの死角に入った歩行者や二輪車、自転車等を見落とす危険があります。

左折時には、側方を走行している二輪車や自転車がないか、右折時には、右折先の横断歩道付近に歩行者や自転車がいなか、目視での安全確認をしっかりと行うように指導しておきましょう。

また、自車の右左折を周囲に知らせるため、早めの合図を心掛けるよう、併せてアドバイスしておきましょう。

花粉症治療薬服用の

注意点を周知する

今や国民病とも言われる花粉症、三月になると、スギやヒノキなどの花粉の飛散により、くしゃみや鼻水、目のかゆみ等から花粉症治療薬が手放せないという人もいます。

ただし、薬の服用には注意が必要です。花粉症治療薬のなかには眠気を催すものがあるからです。

現在では、副作用の少ない薬も販売されているため、花粉症治療薬を服用する際は、運転業務に就いていることを医師や薬剤師に伝え、眠気が出ないものを処方してもらうよう従業員に呼び掛けましょう。

また、日頃から従業員が健康について相談しやすい職場づくりを心掛けておきましょう。